

四年下「まちがえやすい漢字」	単元	氏名	年組番	1 2 問

1 次の文では、それぞれ、どの漢字を使うのが正しいでしょうか。下から選んで（ ）の中に書きましよう。

- (1) かんしんな行いだ。 ( 感心 )  
 音楽にかんしんをもつ。 ( 関心 )
- (2) 鉄ぼういがいの運動は好きだ。 ( 以外 )  
 今年の夏は、いがいに暑かった。 ( 意外 )
- (3) 公園で友達とあう。 ( 会う )  
 みんなと意見があう。 ( 合う )
- (4) モーターが、かいてんする。 ( 回転 )  
 店が、かいてんする。 ( 開店 )

感心 関心 意外 以外 会う 合う 開店 回転

2 次の一線部の読みがなを（ ）の中に書きましよう。

- (1) この土は、しめり気がある。 ( しめりけ )
- (2) 木かげで休む。 ( こかげ )
- (3) 羽音が聞こえる。 ( はおと )
- (4) 計画の半ばでやめる。 ( なかば )

# 解答例

## チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

四年下「まちがえやすい漢字」	単元	氏名	年	10問
			組	

1 次の語句は、小学校では習わない漢字の読み方が使われています。四年教科書137ページの「これまでに習った漢字」を見て、読み方を調べてみましょう。また、その意味を国語辞典で調べましょう。

語句	読みがな	意味
悪寒	おかん	熱が出たための寒気。
羽毛	うもう	鳥の羽。
花園	はなぞの	草花がたくさん植えてある園。
外科	げか	けがや病気を手じゅつなどによって直す、医学の部門。
号泣	ごうきゆう	(ふだんは泣かない人が)天にもとどけとばかりに悲しみ泣くこと。